

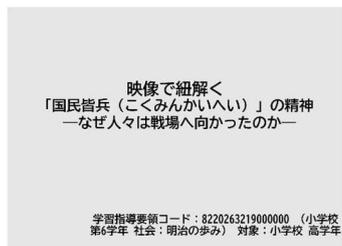
国立映画アーカイブ配信サイトを活用した学習教材コンペティション

審査結果の発表と表彰式開催のお知らせ

国立映画アーカイブでは、当館が所蔵する文化・記録映画を配信するウェブサイト、学校等の教育の場で活用いただくことを目的として、「国立映画アーカイブ配信サイトを活用した学習教材コンペティション」を開催しました。応募総数 30 点から、厳正なる審査の結果、最優秀賞 1 点、優秀賞 1 点、入選 5 点を選出しましたので、ご報告いたします。

つきましては、クローズドのイベントとして、表彰式および最優秀賞教材を使用した模擬授業を開催します。ご多用の折とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

国立映画アーカイブ配信サイトを活用した学習教材コンペティション 審査結果



最優秀賞

映像で紐解く「国民皆兵」の精神 —なぜ人々は戦場へ向かったのか—

猪木耀太（大学生）、阿式慧大（大学生）

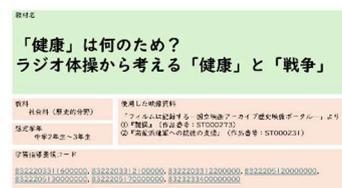
使用映画：『國宝的記録映画 旅順開城と乃木將軍』（英國アーバン會社、1904-1905）

『嗚呼乃木將軍』（家庭活動寫真會、1912）

両映画とも「フィルムは記録する」にて配信

審査員長（審査員長：宮田諭志 成城学園初等学校教諭）コメント

本教材は、学習者にとって心理的にも体感的にも距離のある事象を切実なものにしようとする工夫が巧みに取り入れられている。2本の映像は、戦時中の市井の人々の姿に着目するような問いかけがあることで、学習者と事象との心理的な距離が近づくであろう。また、人々の「一体感」が国への忠誠へと誘われていった事象を特殊なものとして帰着させるのではなく、現代の情報化社会における「同調」に問いを投げかけるものとしたところに、深い教材価値を感じざるを得ない。



優秀賞

「健康」は何のため？ —ラジオ体操から考える「健康」と「戦争」—

三輪玲以佳（同志社大学大学院文化情報学研究科）

使用映画：『體操』（文部省、1928-1932）

『滿蒙派遣軍への銃後の支援』（製作会社不明、1931）

両映画とも「フィルムは記録する」にて配信

審査員長コメント

どの世代でも親しまれている「ラジオ体操」の意外な側面をシンプルに認識させつつも、自らの欲求として求められるはずの「健康」が、戦時下では義務とされることへのジレンマが問いとなる。「滿蒙派遣軍への銃後の支援」から読み取れる人々の活動を、義務としての健康を考える材としたところは、国立映画アーカイブの史料価値を高めるものである。本教材で獲得した視点をもとに現代の戦争を紐解くジャンプ課題の設定も、探求的な学習への発展が期待できる。

入選（応募順）

「明治・大正の葬儀から社会の変化と国のあり方を考える」

青山拓生（同志社大学大学院 文化情報学研究科）

「通信機関×大震災 ～100年前の映像から考える情報との向き合い方～」

井上聖英（同志社大学文化情報学部）、岸田卓大（同志社大学文化情報学部）、川口倫生（同志社大学文化情報学部）、丹羽善文（同志社大学スポーツ健康科学部）

「自然災害からくらしを守る ～もしものときにそなえよう～」

清水江子（東海村立石神小学校 学校司書）

「動物といっしょに生きるためには —戦争と動物の映像から考える」

長尾和樹（大学生）、橋本秋人（大学生）、河野茉裕（大学生）、日盛維人（大学生）

「どんなふうに町は変わっていくのかな？？」

水谷一路（同志社大学文化情報学部）、小山海心（同志社大学文化情報学部）、中島遥香（同志社大学文化情報学部）、森田百景（同志社大学文化情報学部）

受賞・入選教材は3月中に下記の国立映画アーカイブの本コンペティションウェブサイトへアップいたします。

<https://www.nfaj.go.jp/learn/kids/minnanoeiga/competition/>

国立映画アーカイブ配信サイトを活用した学習教材コンペティション

表彰式概要

開催日: 2026年3月22日(日)

会場: 成城学園初等学校 〒157-8522 東京都世田谷区祖師谷 3-52-38

スケジュール: 13:00~13:25 表彰式(対象は最優秀賞および優秀賞)

14:00~15:00 最優秀賞「映像で紐解く「国民皆兵」の精神 —なぜ人々は戦場へ向かったのか—
を活用した模擬授業(講師: 宮田諭志)

主催 国立映画アーカイブ

特別協力 S×UKILAM(スキラム) 連携

支援 Adobe Foundation

このプログラムは、子ども達が芸術に触れる機会の拡大を目指す国立美術館全体の取り組みである「Connecting Children with Museums」のひとつで、Adobe Foundationのご支援のもと実施されています。

【教材制作対象の当館の配信サイト】

※国立映画アーカイブと国立情報学研究所の共同構築サイトです。



「フィルムは記録する—国立映画アーカイブ歴史映像ポータル—」
1904年から1941年までの文化・記録映画を配信。

<https://filmisadocument.jp/>

近代化する日本の産業・暮らしを記録した映画や、満洲事変関連の記録映画も。ジャンルや地域ごとのソートやフリーワード検索もできます。300本以上配信。



「関東大震災映像デジタルアーカイブ」関東大震災直後の記録など、関東大震災に関連する記録映画(1923~1931年)を配信。

<https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/>

20本の関東大震災関連映画を配信。震災前から復興期までの時期、地域、事象に着目した細かな分類によるクリップ再生も可能で、防災教育にも最適です。

表彰式・模擬授業にご参加される方は、3月17日(火)までに、次の項目について下記までご連絡ください。

1. 媒体名 2. 来場者全員のお名前・所属 3. カメラ(動画・静止画・無) 4. 電話番号 5. メールアドレス

本企画に関するお問い合わせ先: 国立映画アーカイブ 教材作成コンペティション担当(担当: 玉田、村岡)
電話: 03-3561-0823 E-mail: edu2@nfaj.go.jp